

### インフルエンザ

2016年49週の県全体の定点当たり報告数は、48週の2.98から増加し3.32となった。6週続けて増加しており、今後の流行状況に注意が必要である。

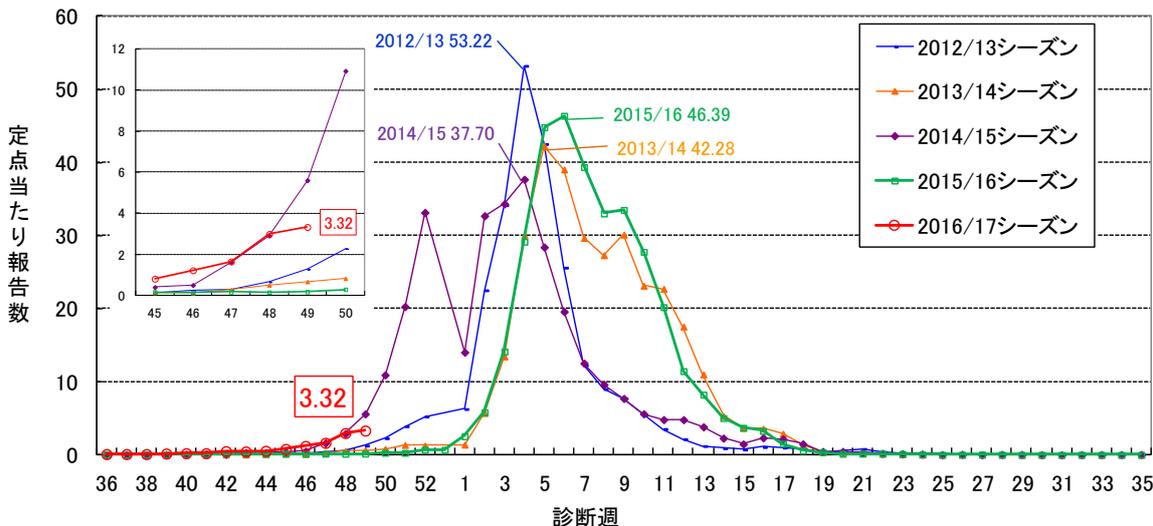
保健所別の定点当たり報告数は、16保健所中8保健所管内で増加し、夷隅(8.40)、印旛(4.88)、習志野(4.19)、船橋市(4.00)、千葉市(3.86)、柏市(3.64)、松戸(3.32)が多い。

2016年49週の年齢群別報告割合は、10～14歳21.2%、5～9歳20.3%、0～4歳12.9%、15～19歳11.2%が多く、2016/17シーズン全体では、10～14歳20.5%、5～9歳20.3%、0～4歳13.2%が多かった。

2016年49週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、687例中A型664例(96.7%)、B型8例(1.2%)、A and B型2例(0.3%)、A or B型13例(1.9%)であった。2016/17シーズン合計では、2,430例中A型2,371例(97.6%)、B型37例(1.5%)、A and B型3例(0.1%)、A or B型19例(0.8%)となった。

平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)  
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

